

コクヨ ケー20 20×20

む人が沢山居る。生きなま^ヤと、希望を持つ
事ができ、笑顔とい生きたる活力も持ったそう。
大切な人からの言葉があるから、私は
毎日を笑って懸命に生きてるんです。
彼女のその言葉を聞いた途端、私はふとあ
る事を思い出した。

今年の七月、水泳部に所属する私は、いっ
ものように練習をしていた。練習も一段落し、
休憩をしようとゴールを外したところ、私
はある違和感に気付いた。右目の視界が、若

干白く霞んでいるように見えただ。左目は
鮮やかに景色を映し出しているのに、右目は
薄いすりガラスを被せた様な、朧かな景色を
映し出している。違和感に気付いた瞬間、凄
しい恐怖が私を襲った。自分の身に何か起こ
っているのか。右目が見えにくい、一生このま
まなのか。私の人生は暗いものになっ
たのか。その時、私に優しく「大丈夫？」と
声をかけてくれた仲良しの友達がいた。彼女
は混乱している私に寄り添い、心配の言葉を

かけてくれた。やがて混乱が収まると、次は
凄まじい不安が私を襲った。もう何もかも終
わりかもしれない。そう思い顔色を悪くする
私に、彼女は最後まで私に寄り添い、励まし
の言葉をかけてくれた。そのお蔭で、
一人いらない。心が折れそうになっ
たけど、希望を持つてちゃんと生きよう
と、前向きになれ、笑顔と、生きる
活力を持つてた。後に
眼科に行つた所、水が入つて眼球が
少し傷付いたんだけど、心配する
必要は無かった。という診
断が下され、症状も翌日には治ま
つた。私は、ほんと胸を撫で下ろ
した。
「大切な人からの言葉は、
毎日笑つて、懸命に生きられ
るんです。」
あの女性の言葉は、本当にその通り
だと思つた。不安で胸がいっぱい
になつて、心が折れそうになつた
時に、大切な人から、心配の言葉
や、励ましの言葉をかけてもら
うなどの言葉が私や、あの女性
に笑顔を与えた。そして、
ちゃんと生きようとして、
生きる活力

も、与えてくれた。つまり、
「笑顔を」と「未来」を創ったのだ。
今、世界には、人生に希望が持てない、不
安で胸がいっぱい、という人が沢山居ると
思う。例えば、何か障害を持つ人だ、
病気にかかっていた人だ、
家に引
きこもられてしまっている人だ、
たり、
お金に
困っている人だ、
たり。
彼、
彼女らがその様
な感情を持ち、苦しんでいるとは限らないが、
私はその様な感情を持ち、苦しんでいる人々
を、
支えてあげたいと思つた。
私が友達に
救われた様に、私も誰かを救いたい。
苦しんで
いる人々の持つ感情を一度経験した事のあ
る私なら、何かできるかもしれない。
まずは
身近な人から、
支えていきたい。
そして、
つか、
全ての人が、
支える事、
を、
する、
つ
まり、
支え合ひ、
を、
すれば、
みんなが幸せな
すてきな世界が
できると思ふ。
「
支える事、
は、
誰かの「
笑顔、
と、
未来
を創る事、
なのだ、
から。」